

長期インターンシップが特許生む

【名古屋】インターンシップ(就職体験)から未来技術の創造を。名古屋工業大学が電気情報工学専攻の創造起業演習科目で実施している長期インターンシップ制度が、学生のベンチャーマインド養成に役立っている。インターンシ

名工大

ベンチャー精神養成に効果

ツプの過程で特許が生まれるなど、実践的教育の場となっている。

大同特殊鋼で長期インターンシップを行った博士前期課程の打田正樹さんの場合、自

動車の次世代技術の研究を担当。この成果が「バイ・ワイヤ」を見込んだ技術の特許出願につながり、藪見崇生大同特殊鋼主任研究員、森田良文

考が磨かれたという。森田助教も「ベンチャー精神を持つ研究者の育成に役立ちそうだ」と評価している。

同科目は企業から募集した事業可能性を持つ技術テーマに合わせて、選考した学生を週1回程度、企業に派遣する。期間は約半年間。学生は企業の技術者と協力して調査研究に取り組む。

名工大助教授とともに発明者として名を連ねた。

打田さんは「企業のリアルな一面を見て刺激を受け、思